



## 一体感

校長 安達 修久

窓に運動会スローガン「あつい絆で新時代をつくり出せ！It's KamaSHOWTIME！」

10月22日(土)、令和4年度運動会をとり行うことができました。昨年度に引き続き各ご家庭2名まで、保護者の皆様にマスク着用をお願いして応援していただきました。ご協力誠にありがとうございました。

曇り空でやや肌寒い陽気でしたが、力強い競技、演技と応援の熱気で盛り上がり、むしろよどよいぐらいの運動会日和に感じられました。

今回は2年ぶりの、全校が一堂に会しての開催でした。開会式から応援合戦、演技や競技とそれらに送る応援など、全校で一丸となって取り組む一体感は、他の活動では得難いものでした。赤白対抗の競技で勝敗が決まったとき、出場の子どもたちばかりでなく、応援する子どもたちも一緒に一喜一憂する姿にも、同じように一体感が表れていました。そして閉会式での結果発表では、勝敗への喜び悔しさとともに、力を尽くして競い合った末に、お互いをたたえ合う気持ちも表れていたのではないかと思います。

徒競走では走る子たちに向けて、応援席から絶え間なく「がんばれ。」「がんばれ。」という声がかかっていました。自分も一緒にがんばっている気持ちがあればこそその心からの応援だと思われる、このように自然に行動できる釜利谷小の子どもたちの仲間意識は本当に素晴らしいと、誇らしく思いました。

またこの3年間、コロナ禍で来賓をお招きすることを控えていましたが、運動会は外での活動ということもあり、今年度は人数を限って見に来ていただくことにしました。「教育懇話会」の委員として学校評価に携わっていただいている、町内会長さんや地域コーディネーターの方々です。これまでも様々な場面でご協力いただき、今年度は前期に行った教育懇話会にご出席いただきました。年度後半からは「学校運営協議会」に組織を改編することにしており、委員の皆様には学区地域住民のお立場から学校運営にご意見をいただくこととなります。さらに今年は3年ぶりに、坂本町内会からソーラン節のために法被をお借りました。来賓の方々から、がんばる子どもたちに拍手や声援を送っていただき、一緒に楽しんでいただくことができました。

保護者の方々からも、徒競走やリレーで競った見せ場の場面で、歓声や応援の声かけをいただき、演技・競技の後では大きな拍手をいただきました。児童、保護者、地域、教職員と会場が一体になった運動会になっていたと思います。

感染予防に努めながら、「うけとめ つたえ とともにあゆむ」釜利谷小学校は一步前進することができました。やり遂げた充実感と自信をもって、子どもたちがさらに大きく前進できるようにしていきたいと思えます。ご家庭、地域のご支援ご協力を、今後ともよろしく願いいたします。